

令和2年度 自己評価結果報告書

社会福祉法人ゆうゆう 認定こども園 すみよし愛児園

1. 本園の教育・保育目標

当園では理念として『素朴に丁寧な純真に忍耐強く、子どもを軸として連動する絆を結び、未来社会への人づくり、国づくりの基礎(基盤)力を育む』を掲げています。また、教育保育目標として、目指す乳幼児像は次の3項目になります。

- 1、思いやりのある子ども 2、意欲のある子ども 3、生活の中での決まりの守れる子ども

2. 重点的に取り組んだ目標・評価

子ども達の興味、関心、発達に合わせた保育を展開していく。職員で保育観を語り合う中で、様々な角度から子ども達の姿を捉え、検証することで、より深い振り返りを行い実践に活かせるようにした。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
特色を生かした保育を計画し、実践していく。また、評価反省を行う中で、子ども達の情緒が安定し、それぞれの興味関心等がしっかりと保障されていくようにする。	子ども達一人ひとりの想いや願いに大人が耳を傾け、より日常が子ども達の主体的な日々になるようにした。室内環境や教材も子ども達の探求心が十分に満たされるようにしていった。
認定こども園としての専門性を保育者一人ひとりが理解し、教育保育の質の向上を図るため、園内研修や職員での保育観の語り合いを充実させていく。	職員の中でお互いに保育観を出し合う事で、他の職員がどんな考えや価値観を持っているかを知る機会を作るようにした。園内研修を通して、より理論的に子ども達の姿が捉えられるようにした。
日々の健康観察や疾病予防のための取り組み、衛生管理等を行い、子ども達が安全で安心な生活が送れるよう努めていく。	看護師による日々の体調管理や、園内の消毒等の徹底を行った。子ども達の日常はできるだけ変えない中で、新型コロナウイルス感染症への感染予防も行ってきた。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

日々の保育を常に振り返り、あらゆる視点で保育の見直しや深める事に努めてきた。今後も園内研修やオンライン等も使いながら保育実践だけでなく、客観的な視点や理論的な視点からより深い実践が積み重ねられていくようにしていきたい。

園庭の植栽や室内環境等も引き続き見直し、改善していくことで子ども達が五感で感じられる刺激や日常の中での学びを大切にしていけるようにする。

5. 今後取り組むべき課題

保育内容・保育環境の充実	職員間での共通理解をしっかりと行い一人ひとりの発達や心の声に合わせた保育を展開していく。子ども達の記録を元にそれぞれの保育観や実践例を出し合う事も継続的に行っていき、保育の質を高め実践に活かしていく。
危機管理(衛生管理・安全管理)	引き続き園内の衛生管理は徹底していき、新型コロナウイルス感染症の予防に努めていく。それぞれの専門性と子どもの発達への理解、想像力を働かせながら日々を送ることで、事故を防ぎ子ども達の命を守る行動をとっていく。
子育て支援への取り組み	保育教諭・栄養士・看護師・社会福祉士などそれぞれの専門性を活かし、在園家庭だけでなく地域の子育て家庭に向けての支援も充実させていく。コロナにより家庭の状況も様々になっているので、今本当に必要な支援は何なのかを考えていく。また、特別な支援が必要な子どもが増えてきているので、専門機関への接続や適切な環境づくりや関りが持てるように職員や外部機関とも連携していく。

6. 学校関係者の評価

コロナが広がる中で、子ども達の安全も守りながら保育をしていくことは大変だったと思う。先生たちが色々考え

対応してくれていることに感謝している。子ども達にとっては、コロナであろうと過ぎていくので今までと同じように

子ども達の保育を続けていって欲しい。